

環境用語

ISO

International Organization for Standardization (国際標準化機構)。国際的な統一規格を作成する機関。

ISO 14001

環境管理システムを構築し、継続的に環境活動の改善に取り組むことを規定した国際規定。

ゼロエミッション

産業活動を通じて排出される廃棄物や化学物質を限りなくゼロに近づけること。

PRTR法

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(略称：化学物質排出把握管理促進法)。企業などが化学物質の排出量および廃棄物としての移動量を行政に報告し、それを公表することにより化学物質・環境汚染物質による環境リスクの削減をはかる。2000年3月より施行。PRTRとはPollutant Release and Transfer Registerの略。

グリーン調達

環境への負荷が少ない部品・部材を優先的に調達すること。

環境会計

企業が環境対策に投資した費用やその効果を貨幣単位と物量単位の両面から定量的に把握し、公表するための仕組み。

LCA

Life Cycle Assessment (ライフサイクルアセスメント)。製品の一生を通じて、環境にどのような負荷をどの程度かけているかを定量的に評価する方法。

オゾン層破壊物質

地上約30000m付近にあり、人体に有害な波長の紫外線を吸収するオゾン層を破壊する物質です。特に破壊力が大きいのがCFC系フロン(特定フロンともいう)です。

化学的酸素要求量 (COD)

有機物を酸化剤で化学的に酸化するときに消費される酸素量。海や湖沼の有機物による水質汚濁の指標。

温暖化ガス

太陽によって暖められた地表から放出される赤外線を吸収し、熱エネルギーとして大気圏内に蓄積する働きを有しているガス。二酸化炭素などがあります。

コージェネレーションシステム

熱電併給システムともいわれ、エンジン、ガスタービンや燃料電池などによって発電すると同時に、その廃熱を工場の熱源や暖房に利用するシステム。

原単位

単位量の製品を生産するのに必要なエネルギーや廃棄物の排出量。効率の指標として利用される場合が多い。

代替フロン

オゾン層の破壊力が大きいCFC系フロン(クロロフルオロカーボン)の代替物質。ハイドロフルオロカーボン(HFC)などがありますが、これらも、地球温暖化係数がかかなり大きいという問題点があります。

硫黄酸化物 (SO_x)

二酸化硫黄、三酸化硫黄などの硫黄酸化物で、酸性雨の主原因となる大気汚染物質。石油などの化石燃料の燃焼によって発生します。

窒素酸化物 (NO_x)

一酸化窒素、二酸化窒素などの窒素酸化物で大部分が物の燃焼時に発生します。

MSDS

Material Safety Data Sheet (化学物質安全データシート)。化学製品を取り扱う人が、環境と健康の保護及び作業上の安全に関する必要な措置をとることができるよう作成される書類。一般的に、化学製品の製造者が作成し、ユーザーに化学物質を譲渡・提供する際、製品ごとに交付する。